



# News Release

令和2年10月27日

「ソフトバンク、香川大学と共同研究で完成させたアプリ「アシストガイド」を提供開始」

香川大学教育学部が実証実験等で協力したアプリが、ソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」）の新たなサービスとして2020年10月27日から提供されることになりました。アプリは、「アシストガイド」といい、困りごとを抱える子どもの日常生活や社会活動を、保護者や支援者がサポートできるスマートフォン用のアプリです。「アシストガイド」は“やること”と“やりかた”を視覚的に見える化できるアプリで、キャリアを問わずに利用できる無料のサービスとなっています。

知的障がいや発達障がい等のある子どもを例として、困りごとを抱える子どもはそれぞれ異なる症状をかかえています。ICT（情報通信技術）による支援によって、日常生活におけるさまざまな不都合を改善できる場合が多くあります。特に1日に“やること”とそれを行うための“やりかた”を見える化することで、1人では出来なかったことが出来るようになる可能性があります。「アシストガイド」は、保護者や支援者がアプリ上で“やること”と“やりかた”を簡単に作成でき、困りごとを抱える子どもがそれを確認し、実行に移すことで日常生活の質を向上させ、社会参加の機会を増やすことを目的としています。

共同研究では、香川大学教育学部 特別支援教育領域 坂井聡研究室・技術領域 宮崎英一研究室が附属特別支援学校や附属坂出小学校で使用についての検証を行いました。この実証実験でも期待通りの効果が得られたことを確認できています。

## アプリの概要



予定の画面



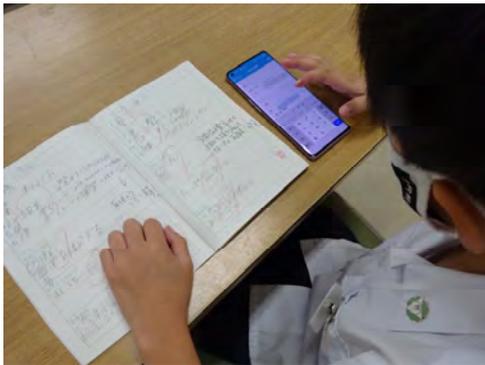
おたすけメモの画面

## 予定

1日の“やること”を視覚的に表現できます。その日にやることを1つずつ順番に忘れずに実行できるようになります。予定を完了すると、チェックマークが付くので、終わった予定とこれから実施すべき予定が一目で分かります。また、予定とおたすけメモを紐づけることができ、ある予定を実施する方法が分からなくなってしまった時に、そのやりかたや持ちものを確認でき、予定の完了をサポートします。

## おたすけメモ

予定を実行するための“やりかた”や“行きかた”といった手順や“持ちもの”を視覚的に表現することができます。お使いのスマートフォンのカメラを用いて撮影した写真でそれぞれに合ったオリジナルのメモを作成することができます。



## 実証実験の協力者の声

- ・ 次にすることが分かりやすいので助かる。初めての場所でも確認してポストに手紙を入れるお手伝いできた。(子ども)
- ・ 完了した予定を遡って見るできるので、振り返りができて、会話の話題になるのも良いと思います。(保護者)
- ・ 色々な使い方を試して、子どものできることを増やしていけば、将来の生活に役立つと感じました。子どもが、これを使って達成できたときの表情が良かったです。(保護者)
- ・ カレンダーでの振り返りや、先の予定が確認できることで、コミュニケーションの話題を共有でき、話が弾みます。保護者とも確認でき、共通理解を図ることができるのも良いと思います。(学校の先生)

## アシストガイドの主な仕様

利用方法	「アシストガイド」アプリのインストール
お申し込み	不要
利用料金	無料
対応機種	iPhone (iOS12 以降)、iPad (iOS12 以降) スマートフォン (Android™9.0 以降)、タブレット (Android™9.0 以降)

※詳細は、ソフトバンクの公式サイト (<https://www.softbank.jp/mobile/service/assistguide/>) をご覧ください。



➤ お問い合わせ先 香川大学 教育学部 教授 坂井聡  
TEL : 087-832-1551  
E-mail : sakai.satoshikagawa-u.ac.jp  
※上記不在の場合 幸町地区統合事務センター事務課 (北キャンパス担当) 総務係  
TEL : 087-832-1405 FAX:087-832-1418  
E-mail : lsoumutkagawa-u.ac.jp